

EPSON

Multipurpose
Entertainment Projector

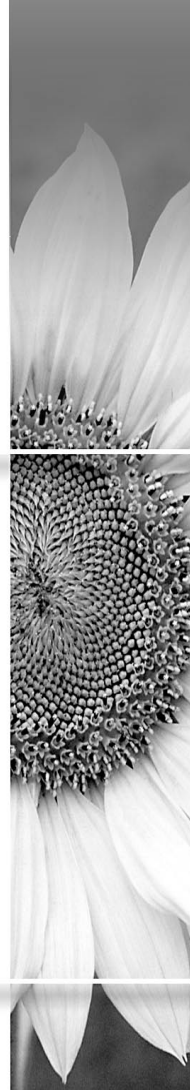
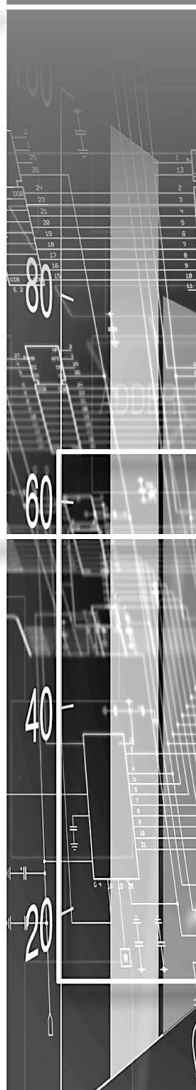
取扱説明書

ELP-30

お使いになる前に

保証書別添

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
本製品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に、保証書とともに大切に保存してください。



説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方

本機の説明書は、次の4冊で構成されています。以下の順番でお読みください。


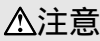
- ①箱を開けてから投写するまで
本機の梱包を解いてから、実際に使い始めるまでの手順と同梱品について記載しています。
- ②安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
本製品を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。
- ③セットアップガイド
本機を使い始めるまでの準備 (リモコンの準備・設置・ビデオ機器やコンピュータなどとの接続) について記載しています。
- ④取扱説明書 (本書)
本機の基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味





安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録用語解説」をご覧ください。 p.56
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(ボタン名)]	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例： [戻る]
[(メニュー名)]	環境設定メニューの項目を示しています。 例：「映像」-「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかにも同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

本機の特長	2
基本的な操作	
電源を入れ投写しよう	6
電源ケーブルを接続しよう	6
電源 ON、投写開始	7
電源を切り終了しよう	8
投写画面を調整しよう	10
投写サイズの微調整	10
ピントを合わせる（フォーカス調整）	10
投写角度の調整	11
台形にゆがむ場合の補正	12
画質の調整をしよう	13
エプソン・シネマフィルタを使う	13
映り具合を選ぶ（カラーモード選択）	14
ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す （アスペクト比の切り替え）	14
コンピュータ映像の調整	15
設定と便利な機能	
環境設定メニューの機能と操作	20
映像メニュー	20
音声メニュー	22
設定メニュー	23
高度な設定メニュー	24
情報メニュー	24
全初期化メニュー	25
環境設定メニューの操作	26
コンピュータ接続時の便利な機能	28
ミュート機能	28
静止機能	28
Eズーム機能	29
困ったときに	
ヘルプの使い方	32
故障かなと思ったら	33
⚠（異常 / 警告）インジケータ	33
電源インジケータ	34
インジケータを見てもわからないとき	35
付 録	
お手入れの方法	42
各部の掃除	42
消耗品の交換	43
オプション品一覧	48
対応解像度一覧	49
コンポーネントビデオ	49
コンポジットビデオ /S-ビデオ	49
コンピュータ	49
仕様一覧	50
外形寸法図	51
各部の名称と働き	52
前面 / 上面	52
本体操作パネル	53
左側面	53
背面	54
底面	54
リモコン	55
用語解説	56
索引	58

基本的な操作 →

設定と便利な機能 →

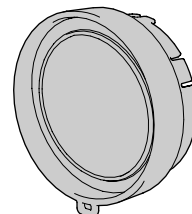
困ったときに →

付 録 →

本機の特長

エプソン・シネマフィルタ機能

映画をより美しい画像でお楽しみいただくときは、同梱のエプソン・シネマフィルタを取りつけて、環境設定メニューで「映像」-「エプソン・シネマフィルタ」を「ON」に設定します。自動的に、映画等の画像に最適な色合いで投写されます。☞ p.13



カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。☞ p.14

- sRGB ▶
- ノーマル
- ミーティング
- プレゼンテーション
- シアター
- ゲーム

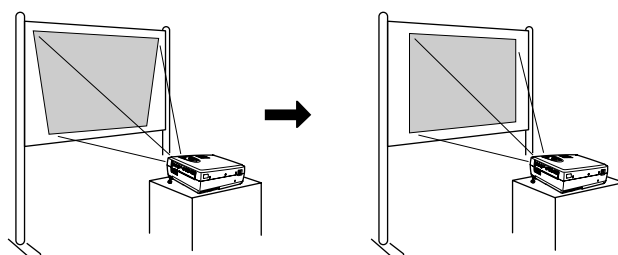
美しく鮮明な映像

小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を写し出せます。

台形補正機能

台形にゆがんだ映像を簡単に補正できます。これにより、本機を上下に傾けて写した映像もきれいに投写できます。

☞ p.12



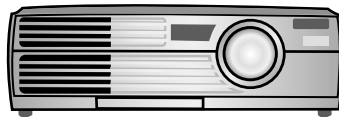
自動セットアップ機能

コンピュータ映像を投写するとき、接続されたコンピュータの信号を判断し、自動的に最適な投写状態になるように調整します。何人かでプレゼンテーションを行う場合も、コンピュータを接続し直すだけで、最適な状態で投写されます。個別に手動での調整も可能です。

☞ p.15

操作が簡単

同梱のリモコンを使い、投写映像を停止する（静止機能 ☞ p.28）、大切な部分をズームアップする（Eズーム機能 ☞ p.29）などの操作ができます。



基本的な操作

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう	6
• 電源ケーブルを接続しよう	6
• 電源 ON、投写開始	7
電源を切り終了しよう	8
投写画面を調整しよう	10
• 投写サイズの微調整	10
• ピントを合わせる（フォーカス調整）	10
• 投写角度の調整	11
• 台形にゆがむ場合の補正	12
画質の調整をしよう	13
• エプソン・シネマフィルタを使う	13
• 映り具合を選ぶ（カラーモード選択）	14
• ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す （アスペクト比の切り替え）	14
• コンピュータ映像の調整	15
• 自動セットアップ	15
• トラッキングの調整	16
• 同期の調整	17



電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行うまでの手順を説明します。

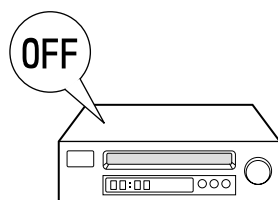


投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルを接続しよう

操作

1



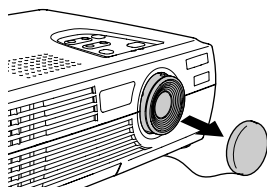
本機と本機に接続するすべての機器の電源が切っていることを確認します。

2

本機とビデオ機器、またはコンピュータを接続します。

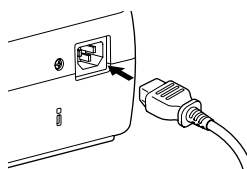
📖 『セットアップガイド』

3



レンズカバーを外します。

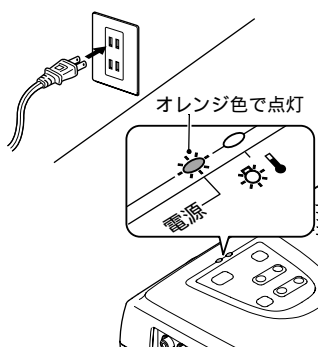
4



本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。

本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。

5



電源プラグをコンセントに差し込みます。

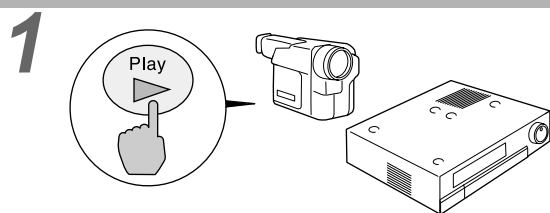
電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。



電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンや操作パネルのボタン操作は無効となります。

電源 ON、投写開始


操作



1 本機に接続されている機器の電源を入れます。
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の [再生] や [プレイ] ボタンを押します。
本機の電源インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。




2 本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。
電源インジケータが緑色の点滅に変わり、しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。
電源インジケータが緑色の点灯に変わるまで待ちます (約 40 秒かかります)。

 電源インジケータが緑色で点滅しているときは、操作パネルやリモコンのボタン操作は無効となります。
環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。☞「設定」-「ノーシグナル表示」p.23

3 複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。

接続端子	選択するボタン		画面右上の表示
	本体	リモコン	
コンピュータ / コンポーネントビデオ	[入力切替] を押すたびに映像ソースが切り替わります。	[コンピュータ]	Computer YCbCr▶▶ YPbPr▶▶
S-ビデオビデオ		[S-ビデオ / ビデオ]	S-Video Video

環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で設定されているものが表示されます。

 接続機器が 1 台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。
 ● 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
 ● ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。

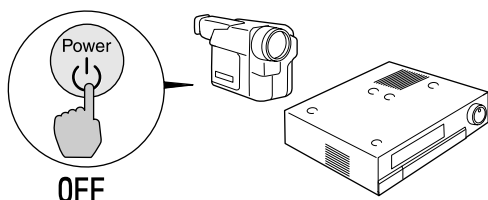
● 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。静止映像は長時間投写しないでください。

電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

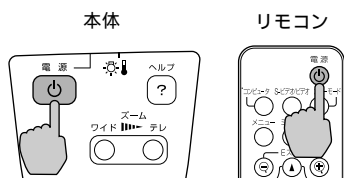
操作

1



本機に接続している機器の電源を OFF にします。
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

2

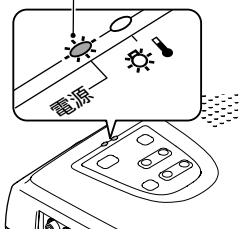


本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押します。

左記の確認のメッセージが表示されます。
電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。
何も操作しないと、7秒後に自動的にメッセージが消えます (電源は切れません)。

3

オレンジ色で点滅した後、点灯に変わります。

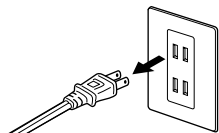


もう一度 [電源] ボタンを押します。
ランプが消灯します。電源インジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウン▶▶が始まります。
クールダウンの時間は約20秒です (外気温などによって変わります)。
クールダウンが終了すると、電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。



電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコン、または操作パネルのボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

4



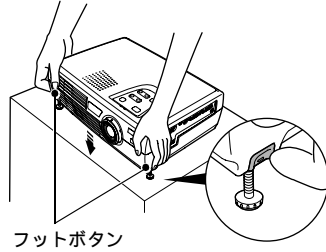
電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。



注意

電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

5

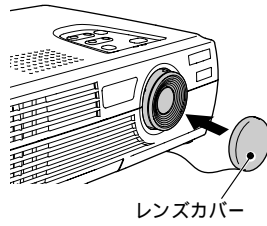


フットボタン

フロントフットが出ているときは、元の高さに戻します。

両側のフットボタンを両方とも押したまま、本機をゆっくりと降ろします。

6



レンズカバー

レンズカバーを取り付けます。

レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。

投写画面を調整しよう

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。

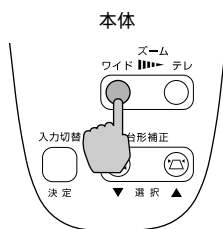
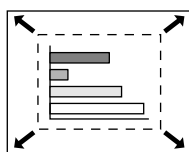
☞ 『セットアップガイド』

さらに微調整が必要な場合は、操作パネルの [ズーム] ボタンを押して調整します。約 1.0 倍～1.2 倍まで、33 段階で投写サイズの微調整ができます。

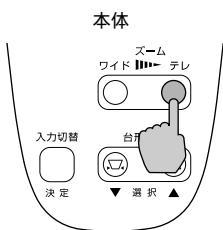
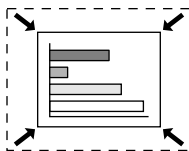


一部分を拡大する E ズーム機能もあります。☞ p.29

操作



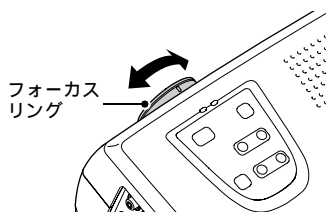
本体の [ズーム] ボタンを押します。
[ワイド] 側を押すと、映像を拡大します。



[テレ] 側を押すと、映像を縮小します。

ピントを合わせる (フォーカス調整)

操作



フォーカスリングを回して調整します。

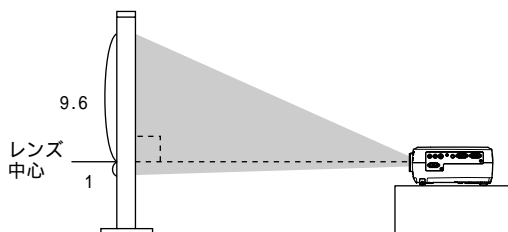


- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。
☞ p.36,42
- 設置距離が0.9～11.3mからはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。

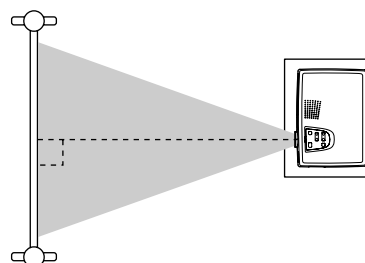
投写角度の調整

プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき

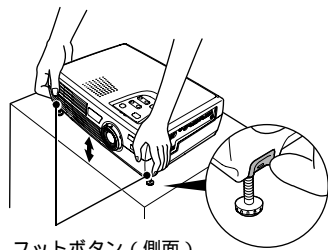


上から見たとき



スクリーンに対して直角に設置できない場合は、上下方向に傾けて設置できます。上方向に対しては、フロントフットの伸縮を調節することで、最大傾斜角度 10°までの範囲で投写角度を調整できます。

操作



フットボタン（側面）

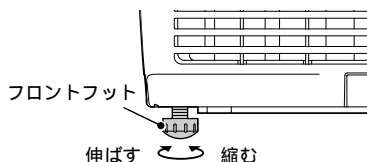
両側のフットボタンを両方とも押したまま、本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットボタンを離します。

フロントフットを収納するには、フットボタンを押したまま、本機をゆっくり降ろします。

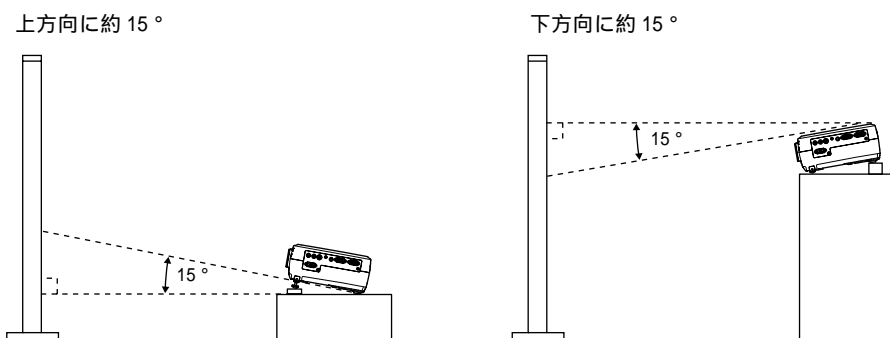


- フット調整をすると、画面が台形にゆがむことがあります。台形ゆがみは台形補正で調整できます。☞ p.12
- 本機が水平方向に傾いているときは、左右のフロントフットの接地部を回して、高さを微調整してください。



台形にゆがむ場合の補正

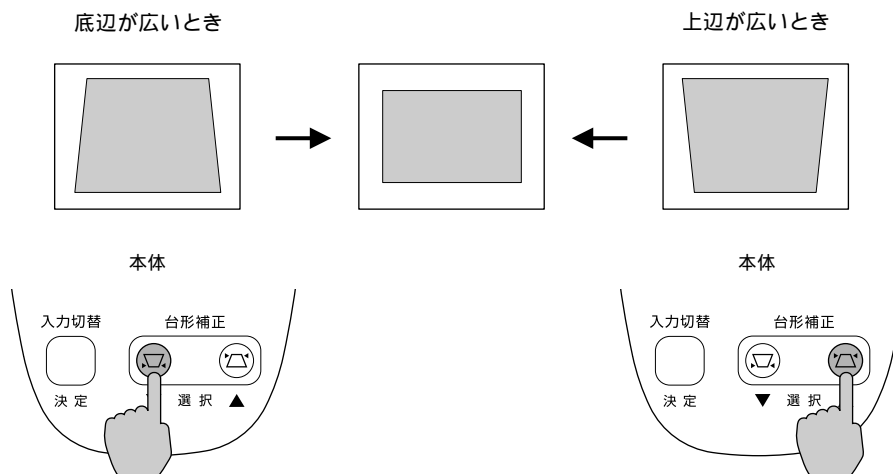
本機を傾けると、画面は台形にゆがみます。上下に約 15°までの傾きであれば、台形補正機能でゆがみのない映像に補正できます。



操作

台形補正は、本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。ここでは、本体操作パネルからの調整方法を記載します。

環境設定メニューからの調整 [☞](#) 「設定」 - 「台形補正」 p.23



- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態に合うように再調整してください。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。 [☞](#) p.20,22
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

画質の調整をしよう

エプソン・シネマフィルタを使う

アスペクト比の切り替え

カラーモード選択

コンピュータ映像の調整

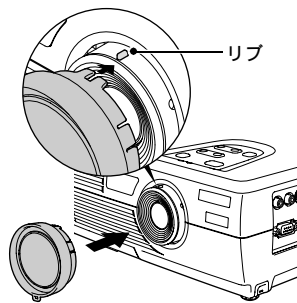
映像の画質を調整します。

エプソン・シネマフィルタを使う

同梱のエプソン・シネマフィルタを装着し、環境設定メニューの「エプソン・シネマフィルタ」を「ON」に設定すると、映画等の画像に最適な色合いに調整されます。
コンピュータを接続してプレゼンテーションを行う際は、暗くなります。エプソン・シネマフィルタを取り外して、環境設定メニューの「エプソン・シネマフィルタ」を「OFF」に設定してお使いください。

操作

1



同梱のエプソン・シネマフィルタを装着します。
フォーカスリングのリブにエプソン・シネマフィルタの切り欠きを合わせてはめ込みます。



注意

- エプソン・シネマフィルタは、必ず切り欠きをフォーカスリングのリブに合わせてはめ込みます。正しく装着しないと投写映像にムラやぼやけが生じます。
- 装着時はエプソン・シネマフィルタのガラス面や本機のレンズに触れないでください。指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。

2



リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「エプソン・シネマフィルタ」を選びます。
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。p.26

3

[<][>]ボタンで「ON」を選択し、[決定]ボタンを押します。

4

設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

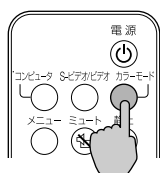
映り具合を選ぶ (カラーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の6種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
sRGB▶▶	色の標準規格である sRGB に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方とも sRGB に設定して使用します。
ノーマル	明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。
ミーティング	補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。
プレゼンテーション	暗い部屋でのプレゼンテーション用です。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
ゲーム	明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。

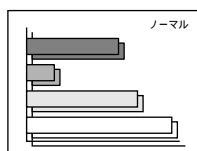
操作

リモコン



リモコンの [カラーモード] ボタンを押すたびに、次の順でカラーモードが切り替わります。

ノーマル ミーティング プレゼンテーション
 シアター ゲーム sRGB...



モードを切り替えるたびに、画面右上に現在の設定が表示されます。

カラーモードの初期設定値は、コンピュータ映像入力時「ノーマル」、コンポーネントビデオ▶▶やビデオ、S-ビデオ入力時「シアター」になっています。

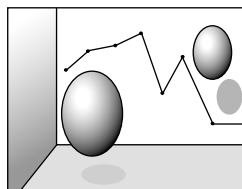


環境設定メニューの「映像」-「カラーモード」からも設定できます。☞ p.21,22

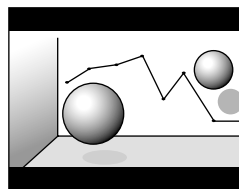
ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す (アスペクト比の切り替え)

コンポーネントビデオ (YCbCr、YPbPr)、ビデオ (S-ビデオ、ビデオ) 投写時は、アスペクト比▶▶ 4 : 3 と 16 : 9 を切り替えることができます。

デジタルビデオで録画した映像や DVD 映像を 16 : 9 のワイド画面で投写できます。



スクイーズモードの映像を 4 : 3 で投写した場合



スクイーズモードの映像を 16 : 9 で投写した場合

操作

1



リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「アスペクト比」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☞ p.26

2



[◀][▶] ボタンで、アスペクト比「4:3」または「16:9」のいずれかを選択し、[決定] ボタンを押します。

3

設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

コンピュータ映像の調整

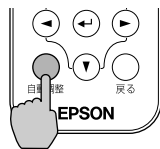
自動セットアップ

接続されたコンピュータの信号を判断し、映像を最適な状態に自動的に調整します。自動セットアップで調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期 (Sync.) の3項目です。



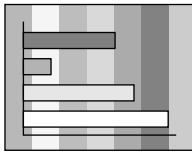
- 環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は（初期設定は「ON」）、自動セットアップ機能は働きません。この場合は、コンピュータの映像を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタンを押して調整を行います。

リモコン



- Eズーム機能や静止機能を実行しているときや環境設定メニュー、ヘルプを表示中に[自動調整]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ手動で調整してください。☞ p.16,17

トラッキングの調整



自動セットアップを行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別に「トラッキング」の調整を行います。

操作

1



リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「トラッキング」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☞ p.26

2



[<][>]ボタンを押して、トラッキングの値を設定します。

ボタンを押すたびに、トラッキングの値が増減します。

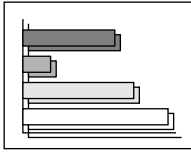
3

設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

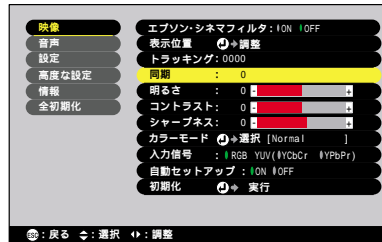
同期の調整



自動セットアップを行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期調整を行います。

操作

1



リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「同期」を選びます。操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。p.26

2



[◀][▶]ボタンを押し、同期の値を設定します。ボタンを押すたびに、同期の値が増減します。

3

設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



- トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

設定と便利な機能

この章では、環境設定メニューについてと、コンピュータを接続して投写するのに便利な機能について説明しています。

環境設定メニューの機能と操作	20
• 映像メニュー	20
・ビデオ (S-ビデオ、ビデオ、コンポーネントビデオ)	20
・コンピュータ (Analog-RGB)	21
• 音声メニュー	22
• 設定メニュー	23
• 高度な設定メニュー	24
• 情報メニュー	24
• 全初期化メニュー	25
• 環境設定メニューの操作	26
コンピュータ接続時の便利な機能	28
• ミュート機能	28
• 静止機能	28
• Eズーム機能	29



環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。

メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。

環境設定メニューの操作はリモコンを使って行います。操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(p.26)をご覧ください。



映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「エプソン・シネマフィルタ」、「入力信号」、「自動セットアップ」、「ビデオ信号方式」を除く項目は調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

ビデオ (S-ビデオ、ビデオ、コンポーネントビデオ)

S-ビデオ、ビデオ



コンポーネントビデオ (YCbCr, YPbPr)



サブメニュー	機能	初期設定値
エプソン・シネマフィルタ	自動的に映画に最適な色合いに画質補正する機能の ON/OFF を設定します。 「ON」に設定した場合、同梱のエプソン・シネマフィルタをレンズに装着しないと効果が表れません。p.13	OFF
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ●[決定] ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
色合い	(コンポーネントビデオと NTSC 系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。	中心値 (0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)

サブメニュー	機能	初期設定値
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース（ビデオ機器、コンピュータ）ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ●sRGB▶▶：sRGB規格に準拠した映像にします。 ●ノーマル：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ●ミーティング：補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ●プレゼンテーション：暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ●シアター：自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽい映像時も階調（色の濃淡）差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 ●ゲーム：明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。	シアター
ビデオ信号方式	（ビデオ /S-ビデオ信号入力時のみ調整可能） ビデオ信号方式を設定します。 ●[決定] ボタンを押して表示されるビデオ信号方式選択メニューから選択します。 ●「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定します。	Auto
入力信号	（コンポーネントビデオ信号入力時のみ調整可能） 使用する入力信号を選択します。	接続信号による
アスペクト比▶▶	映像のアスペクト比を設定します。	接続信号による
初期化	「映像」メニューのうち、「エプソン・シネマフィルタ」、「入力信号」、「ビデオ信号方式」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ●[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。▶▶ p.25	-

sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

コンピュータ (Analog-RGB)



サブメニュー	機能	初期設定値
エプソン・シネマフィルタ	自動的に映画に最適な色合いに画質補正する機能の ON/OFF を設定します。 「ON」に設定した場合、同梱のエプソン・シネマフィルタをレンズに装着していないと効果が表れません。▶▶ p.13	OFF
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ●[決定] ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
トラッキング▶▶	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
同期▶▶	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ●ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶▶、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ●トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
コントラスト▶▶	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)

サブメニュー	機能	初期設定値
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース (ビデオ機器、コンピュータ) ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ●sRGB▶▶ : sRGB規格に準拠した映像にします。 ●ノーマル : 明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ●ミーティング : 補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ●プレゼンテーション : 暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ●シアター : 自然な色合いで映画に最適です。 ●ゲーム : 明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。	ノーマル
入力信号	使用する入力信号を選択します。 ●コンピュータ映像を投写する場合は、「RGB」を選択します。	接続信号による
自動セットアップ	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する機能の ON/OFF を設定します。	ON
初期化	「映像」メニューのうち、「エプソン・シネマフィルタ」、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ●[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☞ p.25	-

sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

音声メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
音量	音量を調節します。	中心値 (10)
トーン	音声のトーンを調整します。	中心値 (0)
音声入力	音声の入力先を選択します。 入力信号によって初期設定が異なります (コンポーネントビデオ、コンピュータ信号入力時 : Computer、ビデオ /S-ビデオ信号入力時 : Video)。初期設定と異なる端子から音声を入力するときは、音声の入力先を切り替えてください。 ●Computer : ステレオミニピンジャック (左側) の端子から音声を入力します。 ●Video : RCA ピンジャック (左側) の端子から音声を入力します。	接続信号による
初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☞ p.25	-



「音声」メニューの調整値は各映像ソースごとに保存されます。

設定メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ●台形補正をすると画面が小さくなります。 ●台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。	中心値 (0)
ノーシグナル表示	入力信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、背景の画面の設定を行います。 「OFF」に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色になります。	青
入力表示	入力信号を切り替えたときに、入力信号名を画面に表示するか、しないかを設定します。	ON
カラーモード表示	カラーモードを変更したときに、カラーモード名を画面に表示するか、しないかを設定します。	ON
A/V ミュート	リモコンの [ミュート] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。	黒
スリープモード	信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ●「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で30分間操作しないと自動的に投写を終了し、 <u>クールダウン</u> 後、スリープモード (スタンバイ状態) になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。) ●本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押すと投写を再開します。	ON
初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ●[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 p.25	-

高度な設定メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
言語	メッセージに表示する言語を設定します。 ●[決定] ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語
カラー調整	映像ソースごとに、映像の色温度と RGB の各色の強さを調整します。 ●色温度：白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 [決定] ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 ●RGB：RGB(赤緑青)の各色ごとの強さを設定します。 [決定] ボタンを押して表示されるカラー定義メニューで R(赤)、G(緑)、B(青)の項目を選択し、それぞれ設定します。設定は画面の状態を見ながら調整してください。 (「映像」-「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。)	色温度： 接続信号により異なる
リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
上下反転	天井に取り付けて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が 180° 回転し、逆さまに投写されます。	OFF
初期化	「高度な設定」メニューのうち、「言語」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ●[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 p.25	-

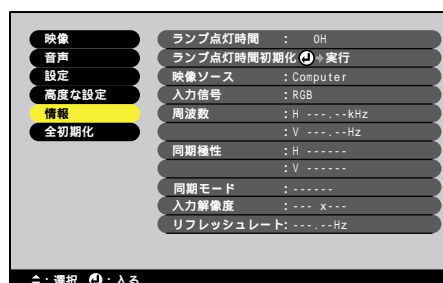
情報メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

ビデオ (S-ビデオ、ビデオ)



コンピュータ / コンポーネントビデオ (Analog-RGB、YCbCr、YPbPr)



サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ●ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色（赤）で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (映像ソースがコンポーネントビデオ、コンピュータの場合は表示されません。)	-
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期▶極性	同期の極性を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期モード	同期の属性を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
入力解像度	入力解像度を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
リフレッシュレート▶	リフレッシュレートを表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-

全初期化メニュー



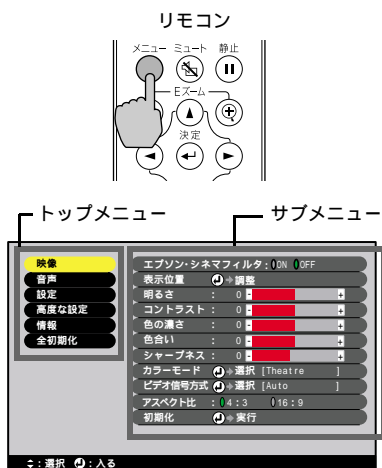
サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ●[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ●映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ●「エプソン・シネマフィルタ」、「入力信号」、「ビデオ信号方式」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。	-

環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンで操作します。

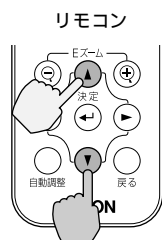
操作

1



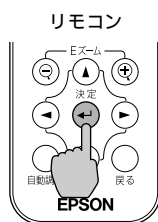
リモコンの [メニュー] ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。
環境設定メニューはトップメニューとサブメニューで構成されています。現在、選択されているトップメニュー項目 (黄色の表示) に対応するサブメニューが表示されます。

2



項目を選択します。
[▲][▼] ボタンを押して、設定する項目に移動します。

3



項目を決定します。
[決定] ボタンを押して項目を決定します。
選択したトップメニューに対応するサブメニューが表示されます。

4



サブ項目を選択します。
[▲][▼] ボタンを押して、設定するサブ項目に移動します。

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している入力信号によって表示される項目が異なります。

5



調整値を選択します。

[◀][▶] ボタンを押して、調整値を変更します。
機能の ON/OFF などを設定する項目では、
[◀][▶] ボタンで選択したあと、[決定] ボタンを
押して確定させます。



- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに ⊙ マークが表示されています。この項目の場合は [決定] ボタンを押した後、調整値を選択します。
- 各設定項目の機能については機能一覧をご覧ください。📄 p.20

6

続いて他の項目も同様に設定します。

手順 2 ~ 5 と同様です。1 つ前の階層に戻るには、
[戻る] ボタンを押します。

7



環境設定メニューを終了します。

[メニュー] ボタンを押します。

コンピュータ接続時の便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

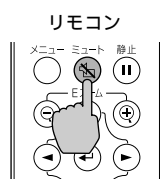
ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。

例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。

ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

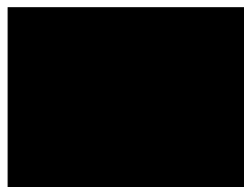


リモコンの [ミュート] ボタンを押します。

映像と音声が消えます。

もう一度 [ミュート] ボタンを押すと投写を再開します。

黒一色



初期設定

青一色



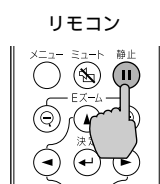
映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、次の2種類の中から選択できます。☞ p.23

静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。

動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作



リモコンの [静止] ボタンを押します。

映像が停止します。

解除するには再び [静止] ボタンを押すか、[戻る] ボタンを押します。



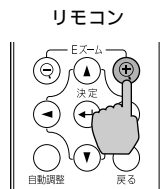
- [静止] ボタンを押すと、環境設定メニュー表示、ヘルプメッセージは消去されます。
- Eズーム機能実行時も、静止機能で停止できます。
ただし、静止機能を解除するときは [静止] ボタンのみが有効となります。

Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大 / 縮小できます。

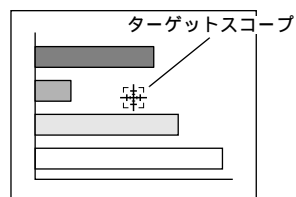
操作

1



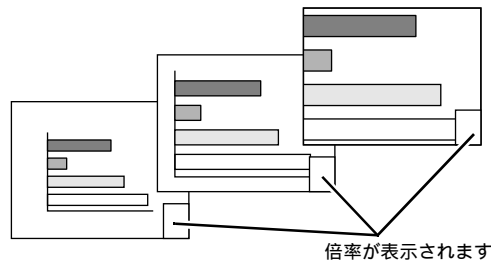
リモコンの [Eズーム+] ボタンを押します。
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル (ターゲットスコープ) が表示されます。

2



拡大 / 縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。
ターゲットスコープの移動は、リモコンの [▲][▼][◀][▶] ボタンを押して行います。

3



リモコンの [+] ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。
[◻] ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。
画面右下に倍率が表示されます。
[▲][▼][◀][▶] ボタンを押すことによって、画面のスクロールができます。


解除するには [戻る] ボタンを押します。

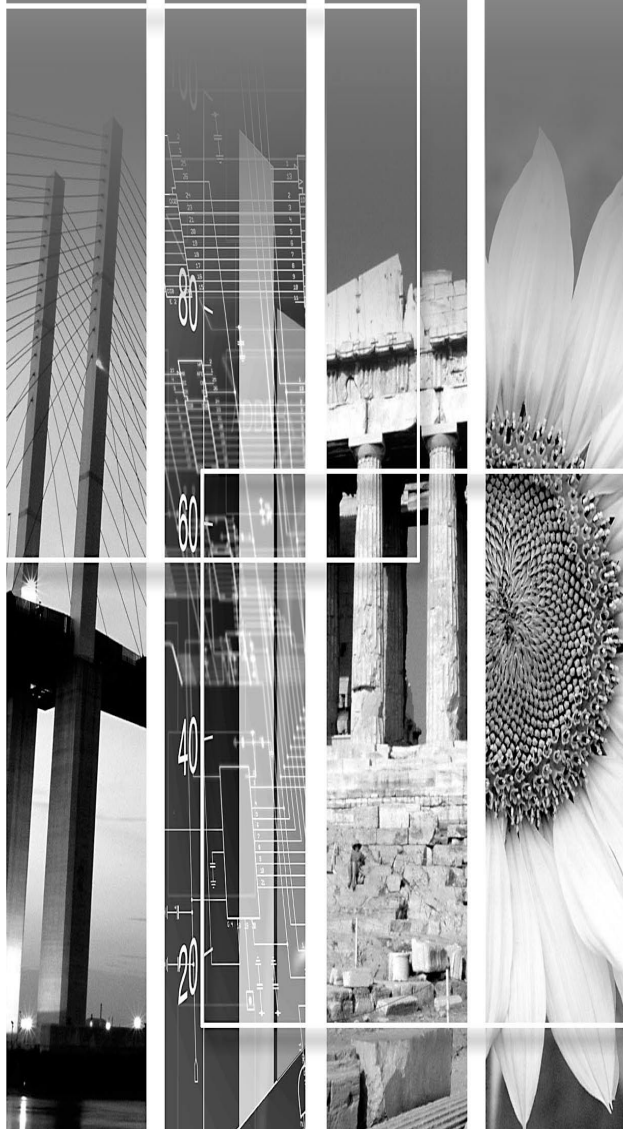


1 ~ 4 倍まで、0.125 倍刻みに 25 段階で拡大できます。

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの使い方	32
故障かなと思ったら	33
•  (異常 / 警告) インジケータ	33
• 電源インジケータ	34
インジケータを見てもわからないとき	35

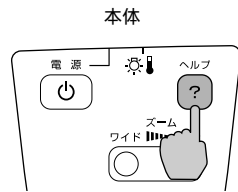


ヘルプの使い方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。映像ソースによって、質問項目の内容は変わります。

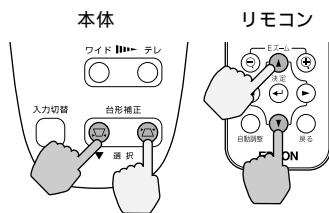
操作

1

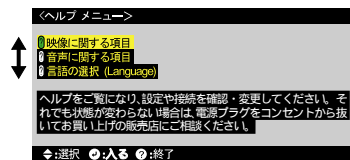


本体の [ヘルプ] ボタンを押します。
ヘルプメニューが表示されます。

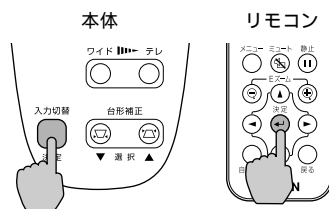
2



項目を選択します。
本体の場合は、[▼ 選択 ▲] ボタンが上下キーとして機能します。
リモコンの場合は、[▲] [▼] ボタンを押して項目を選択します。

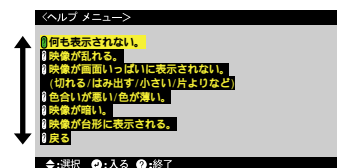


3



項目を決定します。
本体、またはリモコンの [決定] ボタンを押して項目を決定します。

4



手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

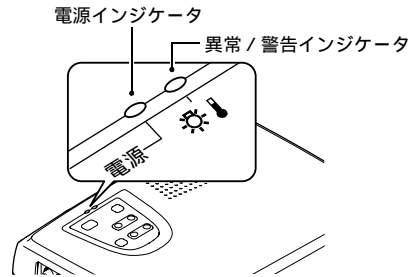
本体の [ヘルプ] ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。



ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(p.33) および「インジケータを見てもわからないとき」(p.35) をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな?と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本機には、次の2種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、下表を参照してください。

🔧🔥 (異常 / 警告) インジケータ

● : 点灯 🔥 : 点滅

状態	原因	処置または状態	📖
赤色 ●	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、電源プラグを抜いて、次の2点を確認して改善します。 ● エアークフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアークフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	『セットアップガイド』 42
赤色 🔥 (0.5秒間隔)	ランプ異常	電源プラグをコンセントから抜いてランプを取り出します。ランプが割れていないか確認し、割れていなければ再セットします。その後、電源プラグを差し、本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。 ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター(本書裏表紙に記載)にランプ交換を依頼してください。 (交換しないと映像を投写することはできません。)	44
赤色 🔥 (1秒間隔)	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	
オレンジ色 🔥	高速冷却中	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。) ● エアークフィルタ・排気口をふさがないように、通気性のよい場所に設置してください。 ● エアークフィルタの掃除をしてください。	『セットアップガイド』 42

困ったときに

電源インジケータ

● : 点灯 ⚠ : 点滅

状態	原因	処置または状態	📖
オレンジ ●	スタンバイ状態	(異常ではありません) この場合に限りに、電源ケーブルを抜くことができます。 本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押すと投写を開始します。	6
オレンジ ⚠	クールダウン中	(異常ではありません) ●そのまましばらくお待ちください。 クールダウンの時間は約 20 秒間です。 ●クールダウン中は、本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押しても無効となります。クールダウン終了後、もう一度操作してください。	8
緑色 ●	投写中	(異常ではありません)	7
緑色 ⚠	ウォームアップ中	(異常ではありません) そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約 40 秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。	7

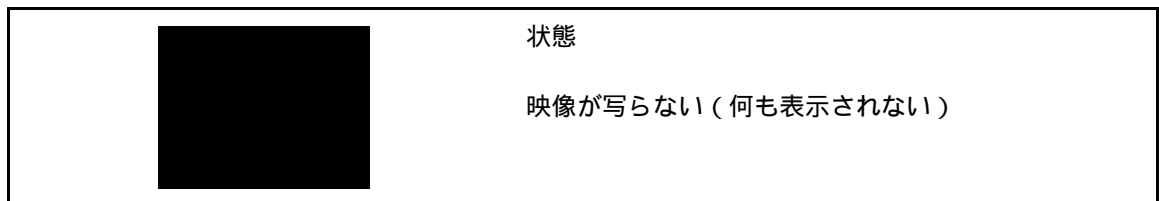


- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

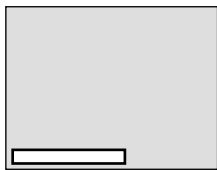
インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

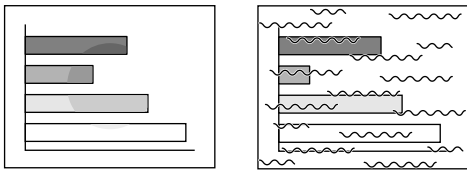
映像が写らない	☞ p.35,36	映像が暗い	☞ p.39
映像が鮮明ではない (ぼやける・乱れる)	☞ p.36	映像が緑色がかって表示される 映像が赤紫色がかって表示される	☞ p.39
映像が切れる (大きい / 小さい)	☞ p.37	音が出ない	☞ p.39
映像の色が悪い	☞ p.38	リモコンで操作できない	☞ p.40
		終了しない	☞ p.40



考えられる原因	対処方法
電源を OFF にした後で、すぐ ON にしましたか？ 投写終了直後 (クールダウン▶中) は、本体、またはリモコンの [電源] ボタンの操作はできません。	→ クールダウンが終了してから本体、またはリモコンの [電源] ボタンの操作が有効となります。 ☞ p.8
スリープモードを ON にしていませんか？ 「スリープモード」を「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。	→ 本機の電源を入れ直してください。スリープモード設定を解除する場合は環境設定メニューの「スリープモード」を「OFF」にしてください。 ☞ 「設定」 - 「スリープモード」 p.23
[電源] ボタンを押しましたか？	→ 本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。☞ p.7
映像の明るさは正しく調整されていますか？	→ 環境設定メニューの「明るさ」で調整します。 ☞ 「映像」 - 「明るさ」 p.20,21
ミュートの状態になっていませんか？	→ リモコンの [ミュート] ボタンを押してミュート機能を解除してください。☞ p.28
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。	→ スクリーンセーバーを解除したり、入力している映像を一度確認してください。
映像信号が入力されていますか？ 環境設定メニューの「設定」 - 「ノーシグナル表示」で「OFF」に設定しているときは、メッセージが表示されません。	→ 「ノーシグナル表示」で「黒」または「青」に設定して、メッセージを表示させてください。 ☞ 「設定」 - 「ノーシグナル表示」 p.23 メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。
全初期化してみてください。	→ ☞ 「全初期化」 - 「実行」 p.25

	<p>状態</p> <p>映像が写らない(メッセージが出る) 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」 「映像信号が入力されていません。」</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

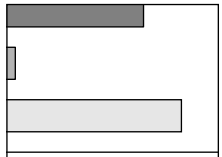

考えられる原因	対処方法
ケーブルは正しく接続されていますか？	→ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞『セットアップガイド』
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	→ 本体の[入力切替](リモコンの場合は[コンピュータ]、[S-ビデオ/ビデオ])ボタンを押し、映像を切り替えてください。☞p.7
接続されたビデオ機器またはコンピュータの電源は入っていますか？	→ 電源を入れます。☞p.7
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。	→ 通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」などを参照してください。☞p.7
コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。	→ コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。☞p.49

	<p>状態</p> <p>映像が鮮明ではない(ぼやける・乱れる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像がぼやける ●映像の一部しかピントが合わない ●ピントがまったく合わない ●映像が乱れる ●ノイズが入る
-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

考えられる原因	対処方法
ピントは正しく調整されていますか？	→ ピント調整を行います。☞p.10
レンズカバーが付いたままではありませんか？	→ レンズカバーを外します。☞p.6
フット調整で投写角度が大きくなっていませんか？ 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなる場合があります。	→ フロントフットを調整して、傾斜角度を10°以下にしてください。☞p.11
投写距離は最適ですか？	→ 投写距離の推奨範囲は、0.9m～11.3mです。この範囲で設置してください。☞『セットアップガイド』
投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？	→ 投写角度を調整し、投写光がスクリーンに対して直角になるようにします。☞p.11
レンズが汚れていませんか？	→ レンズを掃除します。☞p.42
レンズが結露していませんか？ 寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。	→ ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。



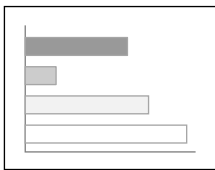
考えられる原因	対処方法
エプソン・シネマフィルタを正しく装着していますか？ 正しく装着しないと投写映像にムラやぼやけが生じます。	→ エプソン・シネマフィルタを取り外して、装着し直します。☞ p.13
映像の信号方式の設定は合っていますか？	→ コンポーネントビデオ やBS デジタルチューナ、コンピュータを接続している場合は、環境設定メニューの「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☞「映像」-「入力信号」p.21,22 コンジットビデオ 、 S-ビデオ を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☞「映像」-「ビデオ信号方式」p.21
ケーブルは正しく接続されていますか？	→ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか？ ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。	→ 同梱のケーブルを使用して確認してください。
「同期」・「トラッキング」・「表示位置」は正しく調整されていますか？ (コンピュータを接続している場合)	→ 環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は、リモコンの[自動調整]ボタンを押して調整します。自動セットアップや[自動調整]ボタンで調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューで個別に調整することもできます。☞ p.15,21
解像度の選択は正しいですか？ (コンピュータを接続している場合)	→ 本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。☞ p.49

 	<p>状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●映像が大きい(映像が切れる) ●映像が小さい
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

考えられる原因	対処方法
[ズーム] ボタンの設定は適切ですか？	→ [ズーム] ボタンで投写サイズを調整してください。☞ p.10
「アスペクト比」が正しく選択されていない可能性があります。	→ 環境設定メニューの「アスペクト比」で「4:3」に設定してください。 ☞「映像」-「アスペクト比」p.21
Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	→ リモコンの[戻る]ボタンを押すとEズーム機能が解除されます。☞ p.29
「表示位置」は正しく調整されていますか？	→ 環境設定メニューの「表示位置」で調整してください。☞「映像」-「表示位置」p.20,21
解像度の選択は正しいですか？ (コンピュータを接続している場合)	→ 本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。☞ p.49
ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。 (コンピュータを接続している場合)	→ 画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。☞ p.7

困ったときに

考えられる原因	対処方法
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ (コンピュータを接続している場合)	→ 接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んであるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。

	<p>状態</p> <p>映像の色が悪い</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

考えられる原因	対処方法
映像の明るさは正しく調整されていますか？	→ 環境設定メニューの「明るさ」で調整します。 ☞「映像」-「明るさ」p.20,21
ケーブル類が正しく接続されていますか？	→ 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞『セットアップガイド』
映像の信号方式の設定は合っていますか？ コンポーネントビデオを接続しているのに、環境設定メニューの「入力信号」で「RGB」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。 コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「入力信号」で「YPbPr」や「YCbCr」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。	→ コンポーネントビデオ [▶] やBSデジタルチューナ、コンピュータを接続している場合は、環境設定メニューの「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☞「映像」-「入力信号」p.21,22 コンボジットビデオ [▶] 、S-ビデオ [▶] を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☞「映像」-「ビデオ信号方式」p.21
コントラスト [▶] は正しく調整されていますか？	→ 環境設定メニューの「コントラスト」で調整してください。☞「映像」-「コントラスト」p.20,21
適切なカラー調整に設定されていますか？	→ 環境設定メニューの「カラー調整」で色を調整してください。☞「高度な設定」-「カラー調整」p.24
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ (コンピュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)	→ 環境設定メニューで色の濃淡、色合いを設定してください。 ☞「映像」-「色の濃さ」、「色合い」p.20
ランプの交換時期ではありませんか？ ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。	→ 新しいランプと交換してください。☞p.44
同梱品のエプソン・シネマフィルタを取り外しているのに環境設定メニューの「映像」-「エプソン・シネマフィルタ」をONにしていますか？	→ 環境設定メニューの「エプソン・シネマフィルタ」で「OFF」に設定してください。 ☞「映像」-「エプソン・シネマフィルタ」p.20,21



	<p>状態</p> <p>映像が暗い</p>
--	------------------------

考えられる原因	対処方法
ランプの交換時期ではありませんか？ ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。	→ 新しいランプと交換してください。☞ p.44
映像の明るさは正しく調整されていますか？	→ 環境設定メニューの「明るさ」で調整してください。 ☞ 「映像」 - 「明るさ」 p.20,21
同梱品のエプソン・シネマフィルタを取り付けたまま使っていませんか？	→ コンピュータを接続してプレゼンテーションを行うときなどは、エプソン・シネマフィルタを取り外し、環境設定メニューの「エプソン・シネマフィルタ」をOFF にしてお使いください。 ☞ 「映像」 - 「エプソン・シネマフィルタ」 p.20,21
「コントラスト」は正しく調整されていますか？	→ 環境設定メニューの「コントラスト」で調整してください。☞ 「映像」 - 「コントラスト」 p.20,21

	<p>状態</p> <p>映像が緑色がかって表示される 映像が赤紫色がかって表示される</p>
--	-----------------------------------------------------


考えられる原因	対処方法
映像の信号方式の設定は合っていますか？ コンポーネントビデオを接続しているのに、環境設定メニューの「入力信号」で「RGB」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。 コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「入力信号」で「YPbPr」や「YCbCr」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。	→ <u>コンポーネントビデオ</u> や BS デジタルチューナ、コンピュータを接続している場合は、環境設定メニューの「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☞ 「映像」 - 「入力信号」 p.21,22 <u>コンポジットビデオ</u> 、 <u>S-ビデオ</u> を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☞ 「映像」 - 「ビデオ信号方式」 p.21

	<p>状態</p> <p>音が出ない</p>
--	------------------------

考えられる原因	対処方法
音声入力は正しく接続されていますか？	→ 使用しているケーブルと、入力端子が正しく合っているか確認してください。☞ 『セットアップガイド』
音声を入力する端子が選択されていますか？	→ 環境設定メニューの「音声入力」で音声を入力する端子を設定します。☞ 「音声」 - 「音声入力」 p.22
接続した機器から音が出ていますか？	→ 接続機器の音量などを確認してください。

困ったときに

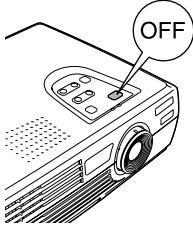
考えられる原因	対処方法
音量調整が最小になっていませんか？	→ 聞こえる音量に調整してください。 ☞「音声」-「音量」p.22
ミュートの状態になっていませんか？	→ ミュートモードになっていることが考えられます。 リモコンの[ミュート]ボタンを押してミュート機能を解除してください。☞p.28



状態

リモコンで操作できない

考えられる原因	対処方法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	→ 操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 15° です。この範囲内で操作してください。 ☞『セットアップガイド』
プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？	→ 操作可能距離は、約 6m です。この距離内で操作してください。☞『セットアップガイド』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	→ 強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。
電池の絶縁テープを引き抜いてありますか？	→ 初めてお使いになるときは、電池ホルダから出ている絶縁テープを引き抜いてください。 ☞『セットアップガイド』
電池は入っていますか？	→ 電池をセットします。☞p.43
電池が消耗していませんか？	→ 新しい電池と交換してください。☞p.43
電池が逆にセットされていませんか？	→ 電池を正しい方向にセットし直してください。 ☞p.43



状態

終了しない
([電源]ボタンを押した後に...)

考えられる原因	対処方法
電源インジケータがオレンジに点灯したままになっている。 本機は電源を切っても電源インジケータは消灯しない構造になっています。	→ コンセントから電源プラグを抜くと、電源インジケータは消灯します。
ファンが止まらない。 本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押して電源を切った後、 <u>クールダウン</u> を行います。	→ クールダウン後、電源インジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。 クールダウンの時間は、約 20 秒です。この時間は外気温などによって変わります。

付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法	42
● 各部の掃除	42
・ 本体の掃除	42
・ レンズ、エプソン・シネマフィルタの掃除	42
・ エアーフィルタの掃除	42
● 消耗品の交換	43
・ 電池の交換方法	43
・ ランプの交換時期	44
・ ランプの交換方法	44
・ ランプ点灯時間の初期化	46
・ エアーフィルタの交換方法	47
オプション品一覧	48
対応解像度一覧	49
● コンポーネントビデオ	49
● コンボジットビデオ / S-ビデオ	49
● コンピュータ	49
仕様一覧	50
外形寸法図	51
各部の名称と働き	52
● 前面 / 上面	52
● 本体操作パネル	53
● 左側面	53
● 背面	54
● 底面	54
● リモコン	55
用語解説	56
索引	58



お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。



掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズ、エプソン・シネマフィルタの掃除

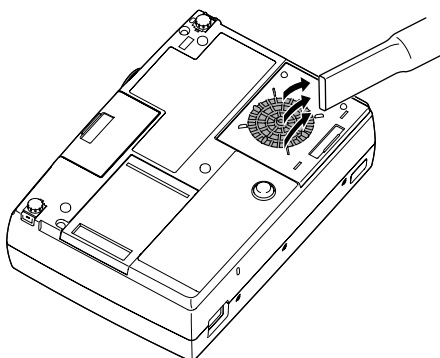
レンズやエプソン・シネマフィルタの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。



レンズやエプソン・シネマフィルタの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルタの掃除

エアフィルタにホコリがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。エアフィルタのホコリは、本機を裏返して、掃除機で吸い取ってください。



- エアフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- 交換用ランプには、交換用エアフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。☞ p.48

消耗品の交換

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアフィルタの交換方法について説明します。

電池の交換方法

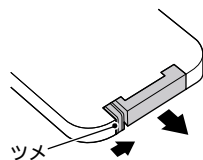
交換用の電池は、次のものをご用意ください。
リチウム電池 CR2025 × 1個



電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

操作

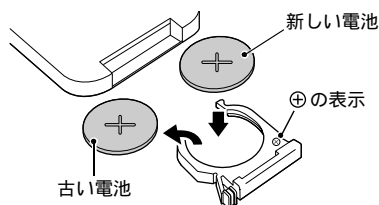
1



電池ホルダを外します。

電池ホルダのツメを内側へ押さえたまま引き出します。

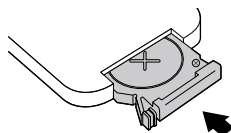
2



古い電池を取り出し、新しい電池と交換します。

新しい電池は、電池ホルダ内の (+) の表示を確認し、向きを間違えないようにセットします。

3



電池ホルダを取り付けます。

カチッと音がするまでホルダを押し込みます。

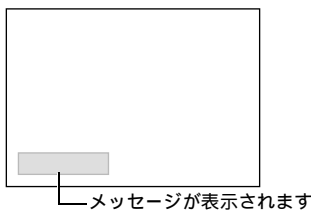


使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプの交換時期

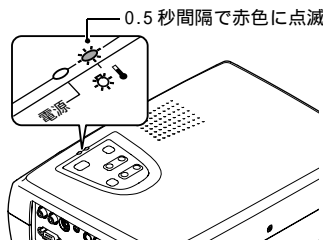
次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」とメッセージが表示されたとき




メッセージは30秒間表示されます。
30秒過ぎると、メッセージが解除されます。

- 点滅インジケータが0.5秒間隔で赤色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

 ● 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1400時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

● 交換表示は約1400時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。
交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

● 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソン OA サプライ株式会社フリーダイヤル 0120-251528 でお買い求めください。

ランプの交換方法

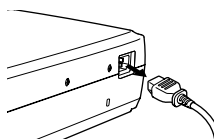


注意

- ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるには、クールダウン▶▶後、約1時間必要です。

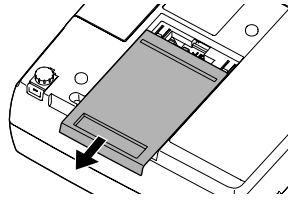
操作

1



本機の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約20秒です。この時間は外気温などによって変わります。

2

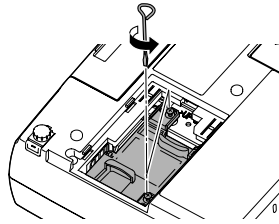


ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。

ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。

ランプカバーはくぼみに指をかけ、外側へまっすぐに引き抜きます。

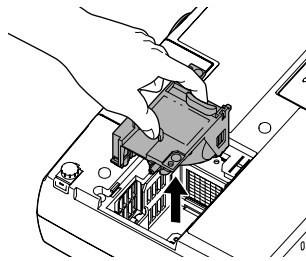
3



ランプ固定ねじ2本をゆるめます。

ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ2本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または+のドライバでゆるめます。

4

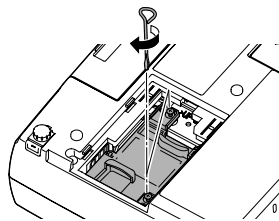


古いランプを取り外します。

2箇所つまみを持ち、ランプを引き上げます。

ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センター(本書裏表紙に記載)にランプ交換を依頼してください。

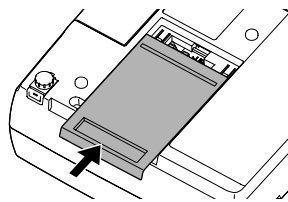
5



新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。

6



ランプカバーを取り付けます。

外側からカバーをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。☞ p.47
- 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

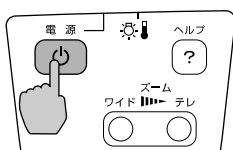
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外に行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1



電源ケーブルを接続し、本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を入れます。

2



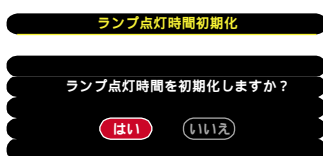
リモコンの [メニュー] ボタンを押します。環境設定メニューが表示されます。

3



「情報」-「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、[決定] ボタンを押します。

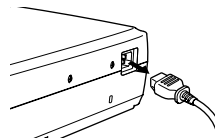
4



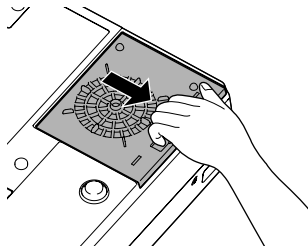
「はい」を選択して、[決定] ボタンを押します。ランプ点灯時間が初期化されます。

エアフィルタの交換方法

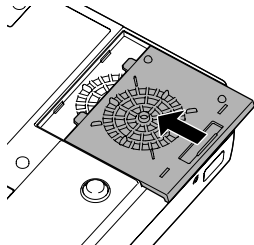
操作

1

本機の電源を切り、**クールダウン**が終了してから電源ケーブルを外します。クールダウンの時間は、約 20 秒間です。この時間は、外気温などによって変わります。

2

エアフィルタのくぼみに指をかけ、外側へまっすぐに引き抜きます。

3

新しいエアフィルタをセットします。外側からエアフィルタをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



使用済みのエアフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2002年8月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

交換用ランプ (シルバーモデル)	ELPLP19	コンピュータ延長ケーブル	ELPCB05
交換用ランプ (ブルーモデル)	ELPLP19C	(ミニ D-Sub 15Pin オス・メス用 5m 延長)	
使用済みランプと交換します。 本機の色に合わせてお選びください。		コンピュータ延長ケーブル	ELPCB10
		(ミニ D-Sub 15Pin オス・メス用 10m 延長)	
携帯スクリーン (50 型)	ELPSC06	同梱のコンピュータケーブルを延長するときに使います。	
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。 (アスペクト比▶▶4:3)		ソフトキャリングケース	ELPKS16
60 型スクリーン	ELPSC07	ハンドキャリングするときに使います。	
80 型スクリーン	ELPSC08	PC セレクタ	ELPST01
100 型スクリーン	ELPSC10	2 台のコンピュータを切り替えて使用するときに使います。(ケーブル 2 本付)	
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比 4:3)		マルチメディアビューワー	ELPDC02
D 端子ケーブル	ELPKC22		ELPDC03
(ミニ D-Sub 15pin/D 端子用 3m)			ELPDC04
BS デジタル放送チューナと接続するときに使います。		書籍や OHP 原稿、スライドを投写するときなどに使います。	
コンポーネントビデオケーブル	ELPKC19		
(ミニ D-Sub 15pin/RCA オス × 3 用 3m)			
コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。			
コンピュータケーブル	ELPKC02		
(ミニ D-Sub 15pin/ミニ D-Sub 15pin 用 1.8m)			
コンピュータケーブル	ELPKC09		
(ミニ D-Sub 15pin/ミニ D-Sub 15pin 用 3m)			
コンピュータケーブル	ELPKC10		
(ミニ D-Sub 15pin/ミニ D-Sub 15pin 用 20m)			
本機とコンピュータを接続するときに使います。			

対応解像度一覧

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート▶▶ (Hz)	アスペクト比▶▶ 4:3 使用画素数 (ドット)	アスペクト比 16:9 使用画素数 (ドット)
SDTV▶▶ (525i) (D1)	60	800 × 600	800 × 450
SDTV(625i)	50	800 × 600	800 × 450
SDTV(525p) (D2)		800 × 600	800 × 450
HDTV▶▶ (750p) 16:9 (D4)		800 × 600	800 × 450
HDTV(1125i) 16:9 (D3)		800 × 600	800 × 450

コンポジットビデオ / S-ビデオ

信号	リフレッシュレート▶▶ (Hz)	アスペクト比▶▶ 4:3 使用画素数 (ドット)	アスペクト比 16:9 使用画素数 (ドット)
TV(NTSC)		800 × 600	800 × 450
TV(PAL, SECAM)		800 × 600	800 × 450

コンピュータ

信号	リフレッシュレート▶▶ (Hz)	解像度 (ドット)	リサイズ表示▶▶時 使用画素数 (ドット)
PC98		640 × 400	800 × 500
EGA		640 × 350	800 × 438
VGA▶▶	60	640 × 480	800 × 600
VGACGA		640 × 400	800 × 500
VGAEGA		640 × 350	800 × 438
VGA text		720 × 400	800 × 444
		720 × 350	800 × 388
VESA	60/72/75/85, iMac	640 × 480	800 × 600
SVGA▶▶	56/60/72/75/85, iMac	800 × 600	800 × 600
XGA▶▶	43i/60/70/75/85, iMac	1024 × 768	800 × 600
MAC13 "		640 × 480	800 × 600
MAC16 "		832 × 624	800 × 600
MAC19 "		1024 × 768	800 × 600
MAC21 "		1152 × 870	800 × 600
NTSC		640 × 480	800 × 600
PAL/SECAM		720 × 540	800 × 600
HDTV▶▶ (525i)			800 × 600
HDTV(525p)			800 × 600
HDTV(750p)	60	1280 × 720	800 × 450
HDTV(1125i)	60	1920 × 1080	800 × 450

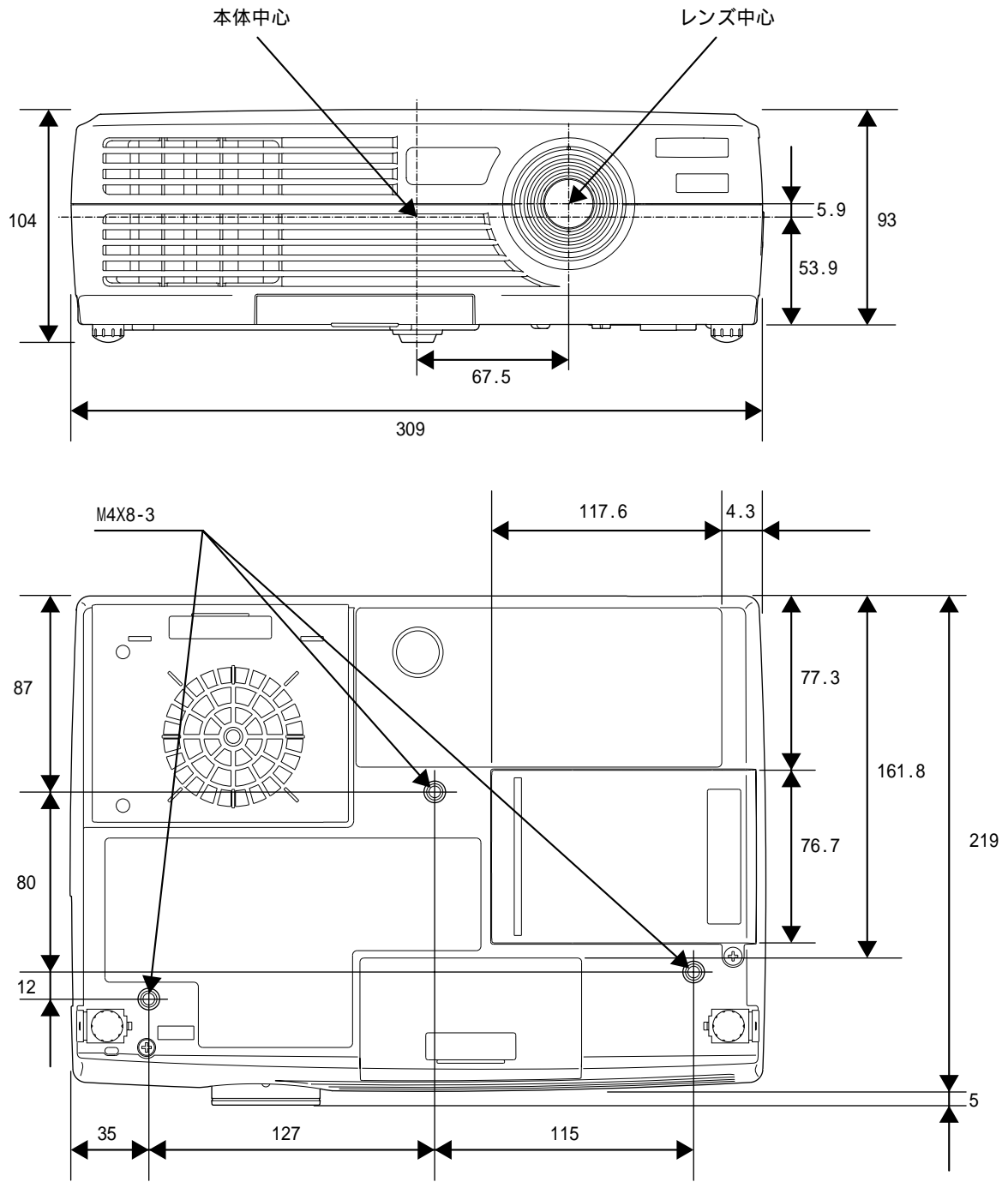
VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

仕様一覧

商品名	マルチパーパスエンターテイメントプロジェクター ELP-30																					
外形寸法	幅 309 × 高さ 93 × 奥行き 219mm (フット・レンズ含まず)																					
パネルサイズ	0.5 型																					
表示方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス																					
駆動方式	フルライン 6 相ブロック順次書き込み																					
画素数	SVGA▶▶ 480,000 個 (横 800 × 縦 600 ドット) × 3																					
フォーカス調整	手動式																					
ズーム調整	電子式 (約 1 : 1.2)																					
ランプ (光源)	UHE ランプ 定格 130W 型番 : ELPLP19 (シルバーモデル) / ELPLP19C (ブルーモデル)																					
音声最大出力	1W モノラル																					
スピーカ	1 個																					
電源	100-120V/200-240V ± 10%、50/60Hz AC 定格消費電力 190W スタンバイ時 6W (100V 時)																					
使用温度範囲	+ 5 ~ + 35 (結露しないこと)																					
保存温度範囲	- 10 ~ + 60 (結露しないこと)																					
質量	約 2.9kg																					
接続端子	<table border="0"> <tr> <td>コンピュータ / コンポーネントビデオ端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>ミニ D-Sub 15pin(メス) 青色</td> </tr> <tr> <td>モニター出力端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>ミニ D-Sub 15pin(メス) 黒色</td> </tr> <tr> <td>音声入力端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>ステレオミニジャック</td> </tr> <tr> <td>ビデオ端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>RCA ピンジャック</td> </tr> <tr> <td>S-ビデオ端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>ミニ DIN 4pin</td> </tr> <tr> <td>音声入力端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>RCA ピンジャック</td> </tr> <tr> <td>RS-232C 端子 :</td> <td>1 系統</td> <td>D-Sub 9pin(オス)</td> </tr> </table>	コンピュータ / コンポーネントビデオ端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス) 青色	モニター出力端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス) 黒色	音声入力端子 :	1 系統	ステレオミニジャック	ビデオ端子 :	1 系統	RCA ピンジャック	S-ビデオ端子 :	1 系統	ミニ DIN 4pin	音声入力端子 :	1 系統	RCA ピンジャック	RS-232C 端子 :	1 系統	D-Sub 9pin(オス)
コンピュータ / コンポーネントビデオ端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス) 青色																				
モニター出力端子 :	1 系統	ミニ D-Sub 15pin(メス) 黒色																				
音声入力端子 :	1 系統	ステレオミニジャック																				
ビデオ端子 :	1 系統	RCA ピンジャック																				
S-ビデオ端子 :	1 系統	ミニ DIN 4pin																				
音声入力端子 :	1 系統	RCA ピンジャック																				
RS-232C 端子 :	1 系統	D-Sub 9pin(オス)																				

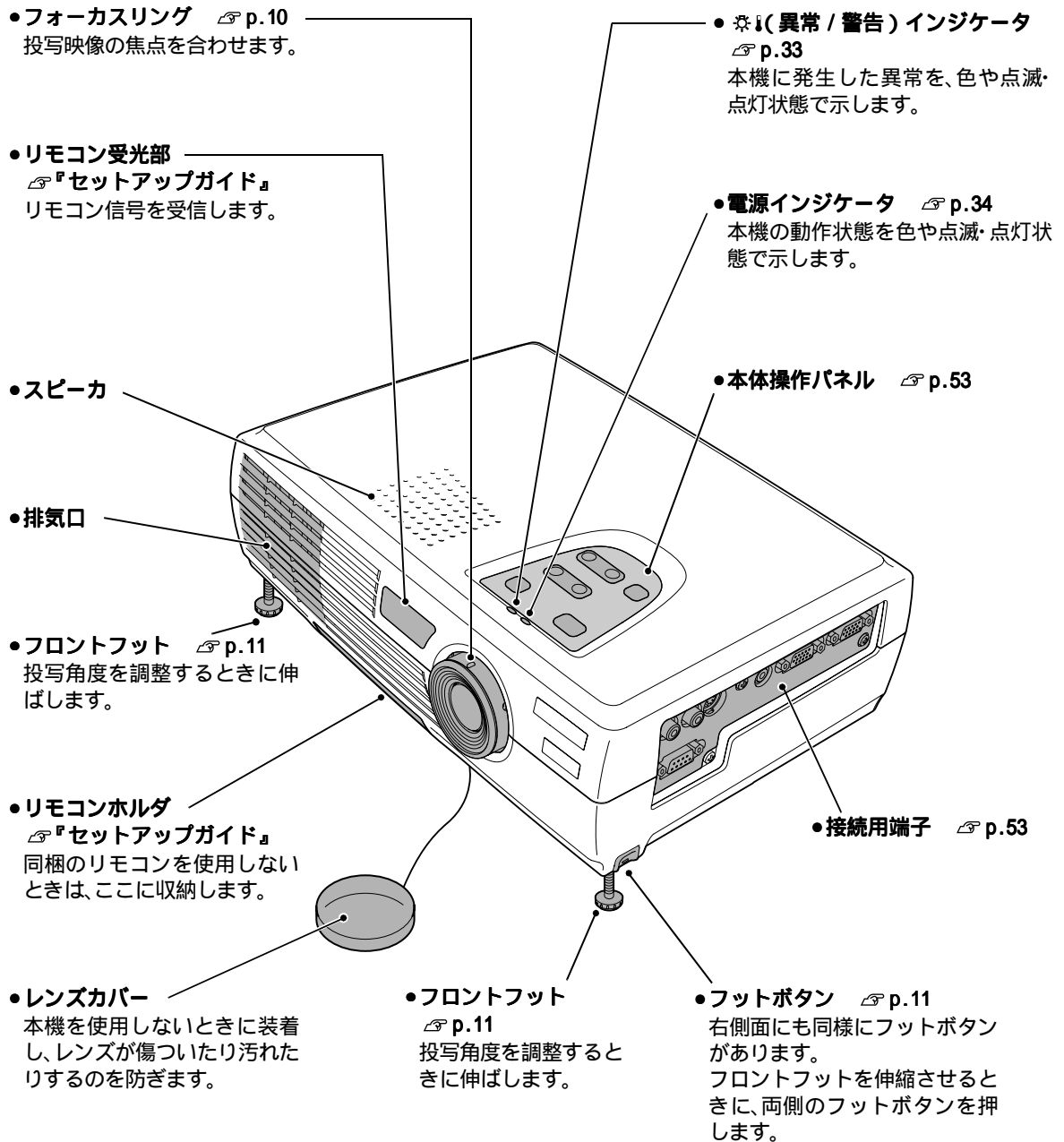
外形寸法図



単位：mm

各部の名称と働き

前面 / 上面






本体操作パネル

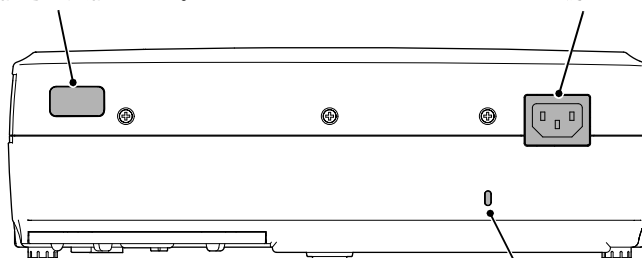
- **[電源] ボタン** ☞ p.7,8
電源を ON/OFF するときに押します。
 - **[ヘルプ] ボタン** ☞ p.32
トラブルが起こったときの対処方法を表示するときに押します。
 - **[ズーム] ボタン** ☞ p.10
投写映像のサイズを調整するときに押します。
「ワイド」側を押すと、映像を拡大します。
「テレ」側を押すと、映像を縮小します。
 - **[入力切替] ボタン** ☞ p.7
押すたびにコンピュータ / コンポーネントビデオ端子 S-ビデオ端子 ビデオ端子の順で入力ソースを切り替えます。
ヘルプメニュー表示中は、項目の決定ボタンとして使います。
☞ p.32
 - **[台形補正] ボタン** ☞ p.12
台形にゆがんだ画面を補正するときに押します。
ヘルプメニュー表示中は、項目の選択ボタンとして使います。☞ p.32
-

左側面



- **S-ビデオ端子** ☞『セットアップガイド』
ビデオ機器の S-ビデオ 信号を入力します。
 - **ビデオ端子** ☞『セットアップガイド』
ビデオ機器の コンポジットビデオ 信号を入力します。
RCA ビデオケーブルで接続します。
 - **音声入力端子** ☞『セットアップガイド』
ビデオ機器の音声信号を入力します。
RCA オーディオケーブルで接続します。
 - **音声入力端子** ☞『セットアップガイド』
コンポーネントビデオ機器やコンピュータの音声信号を入力します。
ステレオミニジャックで接続します。
 - **コンピュータ / コンポーネントビデオ端子** ☞『セットアップガイド』
コンピュータのアナログ映像信号や、ビデオ機器の コンポーネントビデオ 信号を入力します。
接続面が青色です。
 - **RS-232C 端子**
RS-232C ケーブルでコンピュータと接続します。サービス用の端子で通常は使用しません。
 - **モニター出力端子** ☞『セットアップガイド』
投写しているコンピュータのアナログ映像信号を外部モニターに出力します。ビデオ機器の信号には対応していません。
接続面が黒色です。
-

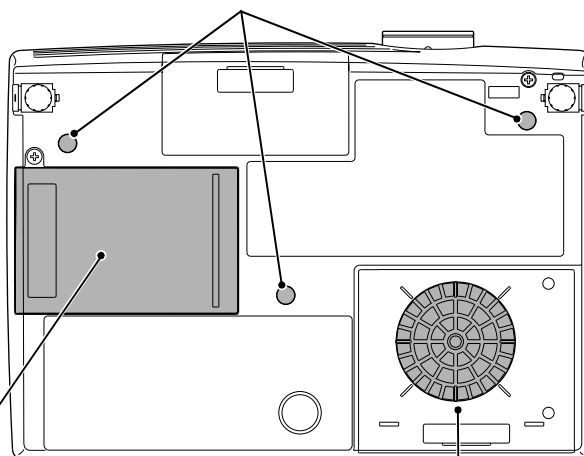
背面

- リモコン受光部  『セットアップガイド』
リモコン信号を受信します。
- 電源端子  p.6
電源ケーブルを接続します。
- 盗難防止用ロック (錠)  p.56

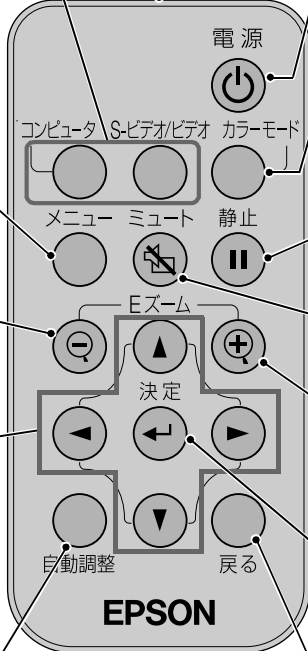


底面

- 固定用ねじ穴
本機を固定設置するときの固定用ねじ穴です。
- ランプカバー  p.45
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- エアフィルタ (吸気口)  p.42,47
吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。ランプ交換時には、エアフィルタも交換します。



リモコン

- 
- **リモコン発光部** ㊦『セットアップガイド』
リモコン信号を出力します。
- **入力切替ボタン** ㊦ p.7
[コンピュータ]: コンピュータ / コンポーネントビデオ端子からの映像に切り替えます。
[S-ビデオ / ビデオ]: S-ビデオ端子またはビデオ端子からの映像に切り替えます。
- **[メニュー] ボタン** ㊦ p.26
環境設定メニューを表示 / 終了します。
- **[Eズーム] ボタン (⊖)**
㊦ p.29
[⊕] ボタンで拡大した結果を縮小します。
- **[▲][▼][◀][▶] ボタン**
㊦ p.26,32
環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値の選択を行います。
Eズーム機能を使用中は、ターゲットスコープを移動させるときや映像をスクロールするときに押します。
- **[自動調整] ボタン** ㊦ p.15
自動セットアップがOFFに設定されているときに、コンピュータ映像を自動調整し、最適化します。
- **[電源] ボタン** ㊦ p.7,8
プロジェクターの電源をON/OFFします。
- **[カラーモード] ボタン**
㊦ p.14
カラーモードを切り替えます。押すたびに、ノーマル ミーティング プレゼンテーション シアター ゲーム sRGBの順で切り替わります。
- **[静止] ボタン** ㊦ p.28
映像を一時停止します。
- **[ミュート] ボタン** ㊦ p.28
映像と音声を一時的に消します。
- **[Eズーム] ボタン (⊕)**
㊦ p.29
投写サイズは変えずに、映像を拡大します。
- **[決定] ボタン** ㊦ p.26,32
環境設定メニューやヘルプの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
- **[戻る] ボタン** ㊦ p.27
実行中の機能を終了します。
環境設定メニュー表示時には1つ上の階層に戻ります。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

HDTV	High-Definition Television の略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 750p、1125i 以上 (p はプログレッシブ▶▶走査、i はインタレース▶▶走査) ・画面のアスペクト比▶▶は 16 : 9 ・ドルビーデジタル▶▶音声の受信、再生 (あるいは出力)
SDTV	Standard Definition Television の略で、HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が 16 : 9 と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は 4 : 3 です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
クールダウン	本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続き行われています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、約 20 秒です。この時間は外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC、PAL、SECAM) です。 カラーバー信号の中の伝送用信号 Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社 情報機器事業部 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch（5.1ch）方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リサイズ表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も、表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ（Hz）で設定します。

索引

数字・アルファベット

Analog-RGB	21, 24
BS デジタルチューナの映像	セットアップガイド
RS-232C 端子	53
D 端子ケーブル	48, セットアップガイド
E ズーム	29
HDTV	49
RCA ビデオケーブル	セットアップガイド
RGB	24
sRGB	14, 21, 22
S-ビデオ	20, 24, セットアップガイド
YCbCr	7, 20, 24
YPbPr	7, 20, 24

アイウエオ

ア

明るさ	20, 21
アスペクト比	14
異常 / 警告インジケータ	52
色合い	20
色温度	24
色の濃さ	20
インジケータ	33, 52
エアフィルタ	54
エアフィルタの交換方法	47
エアフィルタの掃除	42
映像ソース	24, 25
映像メニュー	20
エプソン・シネマフィルタ	13, 20, 21
エプソン・シネマフィルタの掃除	42
オーバーヒート	33
オプション品	48
音声入力端子	53, セットアップガイド
音声メニュー	22
音量	22

カ

解像度	49
各部の名称と働き	52
カラー調整	24
カラーモード	14, 21, 22
カラーモード表示	23
環境設定メニューの機能と操作	20
吸気口	54
クールダウン	8, 34
言語	24
高度な設定メニュー	24
故障かなと思ったら	33
固定用ねじ穴	54
コントラスト	20, 21
コンピュータ / コンポーネントビデオ端子	53
コンピュータとの接続	セットアップガイド
コンポーネントビデオ	セットアップガイド
コンボジットビデオ	セットアップガイド

サ

サブメニュー	20
自動セットアップ	15, 22
シャープネス	20, 22
周波数	25
終了方法	8
仕様一覧	50
使用温度範囲	50
上下反転	24
情報メニュー	24
ズーム	10
スクイーズモード	14
スクリーンサイズ	セットアップガイド
ステレオミニピンオーディオケーブル	セットアップガイド
スピーカ	52, セットアップガイド
スリープモード	23
静止	28
接続できるコンピュータ	セットアップガイド
接続端子	7, 53
設置方法	セットアップガイド
設定メニュー	23
全初期化メニュー	25
操作可能距離 (リモコン)	セットアップガイド
操作可能範囲 (リモコン)	セットアップガイド
操作パネル	53

タ

ターゲットスコープ	29
対応解像度	49
台形にゆがむ場合の補正	12
台形補正	12, 23
電源インジケータ	52
電源ケーブル	6
電源端子	54
電池の交換	43
電池ホルダ	43
トーン	22
同期 (Sync.)	15, 17
同期極性	25
同期モード	25
投写	7
投写角度	11
投写距離	セットアップガイド
投写サイズ	10, セットアップガイド
盗難防止用ロック	54
トップメニュー	20
トラッキング	15, 16

ナ

入力解像度	25
入力信号	21, 22, 25
入力表示	23
ノースIGNAL表示	23

ハ

排気口	52
半透過性スクリーン	セットアップガイド
ビデオ映像	20, 24
ビデオ機器との接続	セットアップガイド
ビデオ信号方式	21, 25
ビデオ端子	53
表示位置	15, 20, 21
ピント	10
フォーカスリング	52
フット調整	11
フロントフット	52
ヘルプ機能	32
保存温度範囲	50
本体の掃除	42

マ

ミュート	23, 28
メニュー	20
モニター出力端子	53

ヤ

用語解説	56
------	----

ラ

ランプ点灯時間	24, 25
ランプ点灯時間の初期化	24, 25, 46
ランプの交換時期	44
ランプの交換方法	44
ランプカバー	54
リア	24, セットアップガイド
リサイズ表示	49
リモコン	55, セットアップガイド
リモコン受光部	52, 54
リモコン発光部	55
リフレッシュレート	25
レンズカバー	52
レンズの掃除	42

ワ

ワイドサイズの映像	14
-----------	----

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基つき同梱されています。本機を販売国以外で使用するには、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にしてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、PS/2 は、International Business Machine Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows2000 は米国マイクロソフト社の商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●EPSON販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したEPSONのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110 (ナビダイヤル) ※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00 (祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

*新日電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011) 221-7911 東京(042) 585-8500 名古屋(052) 202-9532 大阪(06) 6397-4359 福岡(092) 452-3305

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認くださいませ。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

EPSON製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、EPSONに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●EPSONディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

82202002



この取扱説明書は100%
再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキ
を使用しています。

Printed in Japan
402532901
02.09-1.6A(C05)